

9. 地球温暖化とCO₂の発生

第1章 地球温暖化

世界各地での異常気象は地球温暖化に伴うものとみられている。人間の活動が活発になるにつれ「温室効果ガス」が大気中に大量に放出されると、日射エネルギーと熱放射エネルギーのバランスが崩れ気温が上昇し地球温暖化が進む。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は地球温暖化は人間の活動である可能性が強いと強調している。地球温暖化の影響は多様で、水不足・水被害、絶滅種の増加、沿岸地域の水没などが挙げられる。

第2章 世界の二酸化炭素発生の状況

世界規模でCO₂が発生し、地球を温暖化させる主因になっている。世界最大のCO₂排出国は一貫して米国だが、その対世界シェアは低下してきている。第2位は中国で、以下ロシア、日本と続く。世界GDPあたりCO₂排出量は71年比で大幅に低下しているものの、世界全体の排出量は減っていない。

第3章 もうひとつの脅威：資源枯渇

CO₂増加の影響と表裏一体である生活水準向上に伴う資源枯渇を論じる視点にエコロジカルフットプリント(EF)がある。EFとは、「世界が必要とする資源(穀物・飼料・木材・魚及び都市部の土地)を提供し、二酸化炭素の排出を吸収するために必要な土地の面積である」。EFで示す面積と実際の面積を比較することによって環境負担と資源消費水準の持続性を比較することができる。この指標によると、世界全体のEFは1980年代には既に環境容量を上回っており、2000年現在20%超過している。世界中の人間が米国並みの生活水準となったら、地球は5.3個また日本並みでは2.4個必要になる。

参考資料として、環境関連貿易のうち、貿易量が大きく太平洋地域で活発化している再生資源貿易の統計をまとめた。再生資源貿易の特徴や構造については前年度の報告書に詳しく報告しているので、その内容との重複を避け、本報告書では最新時点までの貿易動向の表を整理したものを収録している。